



発行所 土佐高校・中学校新聞部  
高知市塩屋崎町一―一〇  
発行人 土佐高校・中学校新聞部

4月28日木曜

# The 29th Spring Concert

四月三十日(土)、県民文化ホール(オレンジ)にて、土佐高校プラスチック部によるスプリングコンサートが開催されました。二十九回目を迎える今年への意気込みを、部長の瀬戸友彦君(高二)に伺いました。去年一年間、クラブを力強く引っ張ってきた彼にとっては、部長として臨む最後のコンサートということで、その辺の複雑な心境も、彼独特のユーモアを交えながら、熱っぽく語ってくれました。なお、会場は午後一時三〇分、二時開演となります。時間は約二時間で、前売券・当日券共に三〇〇円。

―― よろしくお願ひします。いきなりですが、みんなが気になってる曲目から教えていただけますか？  
はい、左の表を見てください。

―― これが主なものですか？  
ええ、他にインドの民族音楽「ジュティジャレディナラティ」というのもあります。それ以外は秘密ということにさせていただきます。

- クラシック
- ・ 軽騎兵序曲
- ・ エルザの大聖堂への行進
- ・ メトセラII
- ・ ポピュラー
- ・ Sing Sing
- ・ Love is all
- ・ (徳永英明)
- ・ マンボ デラルス
- ・ A Whole New World

―― 当日のお楽しみというところで、今度のコンサートの抱負を聞かせてください。  
やはり絹ごしがいいですね。あ、それは豆腐でしたね(笑)。

―― それでは、見どころといえ、どういった所になりますか？  
うーん。難しいけどやはり全部でしょうね。(笑)

―― 全部？  
―― 言うかまあ、曲そのものではなく、他の学校とは違う土佐高校ならではの演奏スタイル(ノリの良さ)に着目していただけたら、と思っています。

―― それでは抱負を聞かせてもらえますか。  
え、今三千万しか持ってませんよ。あ、それは財布です。

―― どうも。それは、この辺で瀬戸君個人の話題に移りたいと思えます。瀬戸君は去年一年間、ずっと部長として頑張ってきたわけなんです。どうでしたか？

―― この一年間で、部長というのには個人の資質いかんよ、意をまとめるかというところが大切である、と気付かされた。約五〇名程の部員を抱えているわけだから様々な価値観があり、当然対立も出てくるわけです。音楽というものは、個人の主張を伸ばしつつ、しかもそれらをうまく一つに束ねなければ成立しないものなのです。  
―― へえ、さすがですね。そろそろ抱負を聞かせてくださいませんか？  
この季節にはちょっと暑いかもしね。それは毛布でした。

## 放課後

―― 今回一番働いたんです。お前も働け。お前のせいで部の活動力が25%低下したんだぞ。(〇)

―― 今回全く働いていないんです。〇君、お褒めに預かり恐れ至極に存じます。(七)

―― 結構頑張ったつもりです。これからもよろしく御願ひします。(六)

―― 部長はやはり辛かった。(B)

―― この新聞が欲しい人は新聞部のドアの封筒にクラス番号・名前と「4月28日号を下さい」と書いて入れておいてください。後で責任をもってお届けします。もちろん無料です。

―― といったところで、笑点お聞き。また来週のお楽しみ。  
―― ありがとうございます。

―― 私は当日が大変楽しみになりました。みなさんはいかがでしたでしょうか。これからは、色々な情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## 鈴鳴

先日、自転車で夜道を走っていた時、前方から来た自転車と衝突しそうになった。原因は相手の四十代位の男性が無灯火で走っていたことだ。私は当然電気を付けていたが、なぜか私は説教される羽目になってしまった。気の弱い私はすぐに謝ったが、最近、自転車マナーがずいぶん悪い。学生ばかり一般人しかりである。

―― さらに悪いことには、マナー違反していることに気づかないあるいは違反しても注意されるまで何も思わない人がいることである。前述の男性は典型例の一つであろう。

―― ここで考えてほしい。道路、特に歩道は歩行者と自転車が共有している。自転車だけが走っているわけはないのだ。が、なぜ自転車が我物顔で二列横隊や二人乗り、無灯火などで走るのか。そんなことをされたら、歩行者はたまったものではない。

―― さらにである。自転車で交通違反をしていて事故を起こしたらどうするつもりなのか。いくら不慮の事故でも、立場などあるわけが無い。

―― だから、自転車のマナーは守るべきである。マナーを守れない人は自転車に乗るべきではない。歩行者にたいして迷惑だ。と思う次第である。